

令和4年度(令和3年度分) 指定管理者評価表【基本事項】

1. 指定管理施設及び指定管理者概要

施設名称	周南市鹿野高齢者生産活動センター			所管課	高齢者支援課
所在地	周南市大字鹿野中734の4番地				
設置年月日	昭和54年11月25日				
設置目的	高齢者の就業機会の増大を図るとともに、生きがいを高めるため、高齢者の経験や技術を生かした生産活動を実施し、併せて高齢者相互の交流及び健康の増進、教養の向上等福祉の増進を総合的に推進する。				
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> 敷地面積…5,974㎡ 建物構造…鉄筋コンクリート平屋建 延床面積…720.05㎡ 				
指定管理者	名称	社会福祉法人周南市社会福祉協議会			
	代表者	会長 佐原 昌弘			
	所在地	周南市速玉町3番17号			
	連絡先	電話	0834-22-2115	E-mail	kanri@shunan-shakyo.or.jp
		ホームページアドレス	http://www.shunan-shakyo.or.jp		
指定期間	平成29年4月1日 ~ 令和4年3月31日			年数	5年間
募集方法	非公募		料金制度	利用料金	
指定管理の主な業務	<ul style="list-style-type: none"> 農林産物の加工及び販売に関すること 食品の加工及び販売に関すること 特産物の加工及び販売に関すること 高齢者生産活動センターの施設及び設備の維持管理に関する業務 高齢者生産活動センターの利用の許可に関する業務 その他市長が必要と認める業務 				

2. 施設の運営状況

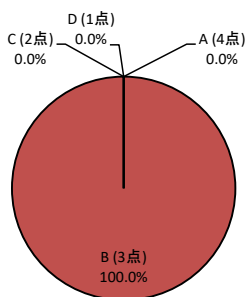
目標管理	目標指標名		年度		R3年度	R4年度	
	延べ利用者数(人)			目標値		4500	4500
		実績値		2693	—		
施設の稼働状況	利用区分等		利用目標	単位	利用実績	単位	稼働率(%)
	延べ利用者数(人)		4500	人	2693	人	—
指定管理業務に係る収支状況	項目		収支計画額(円)		実績額(円)		
	収入	指定管理料	6,794,700		6,790,020		
		利用料金収入	405,000		277,200		
		その他の収入					
	計		7,199,700		7,067,220		
	支出	人件費	3,588,000		2,444,562		
		物件費	2,678,000		2,742,863		
		委託料	316,000		338,360		
		その他					
	計		6,582,000		5,525,785		
参考	使用料収入						
	自主事業収入						
	自主事業経費						

令和4年度(令和3年度分) 指定管理者評価表【評価】

施設名		周南市鹿野高齢者生産活動センター	
指定管理者名		社会福祉法人周南市社会福祉協議会	
項目	評価内容	評価事項・不適切事項等	評価
全体	目標の達成状況	新型コロナウイルス感染症対策のための閉館やイベント中止により、利用者数は減少している。高齢者の生きがいづくりやコミュニケーションの場になるように活動状況についての情報発信を行うことで、施設の周知に努めている。芝桜を鑑賞するイベントを設けるなど、利用者が楽しめる活動を検討している。	B
組織	体制・人事	職員配置体制・業務内容ともに適切である。職員に対して内部研修が行われている。	B
業務	業務の運営	協定書に掲げられた業務は適切に実施されている。	B
	施設の稼働状況	利用者数は前年度に比べて減少しているが、新型コロナウイルス感染症の影響と地域の高齢化による自然減が原因であると分析できている。情報発信を行い、新規の利用者の獲得に努めている。	B
	施設の維持管理(清掃等)	ローテーションを組み、2人体制で全館の清掃を毎日行っており、清潔に保たれている。	B
	施設の維持管理(点検・修繕等)	設備の老朽化はあるが定期点検は行われており、危険箇所については修繕などの対応をしている。	B
	緊急時の対応方法	適切な保険に加入している。緊急時マニュアルは作成されている。消防訓練は年1回実施されており、緊急時の連絡体制は取れている。	B
工創 夫意	サービス向上及び経営改善に関する取組み	新型コロナウイルス感染症の影響により、市内のイベントでの特産品の販売やPRを行う機会が大幅に減少した。利用者の意見を積極的に取り入れ、伝統工芸などを継続できるように努めている。子供に対する体験学習も行い、利用者の生きがいづくりの幅を広げている。	B
広報	PR・情報提供の実施状況	ホームページで活動状況や生産物を頻繁に更新して、情報発信に努めている。また、地域の高齢者が主な利用者のため、現在利用している人たちの口コミを積極的に活用し広報活動に努めている。地区外にも目を向け、情報発信を行い、利用者の増加に努めている。	B
相談 ・ 連携	苦情処理の状況	苦情対応、情報共有は適切に行われている。苦情は月1回程度、施設等に関する内容をいただくため、朝礼の際、職員同士での情報共有が行われている。受付簿などでの管理ではなく、日誌の中で苦情について記入し対応している。	B
	情報共有	苦情対応、情報共有は適切に行われている。事務局にも報告を行い、対応している。	B
モニ タリ ング	指定管理経費の経理事務の状況	経理会計は適切に行われている。	B
	利用者満足度調査における施設満足度	多くの項目では利用者の満足度は高いが、施設や設備の面で一部不満の声が見られる。	B
	書類の作成・提出	期限内に提出できており、市が依頼した文書についても迅速に提出されている。	B
評価 コ メ ン ト	新型コロナウイルス感染症の影響に加えて、地域の高齢化と人口減少により、利用者が減少している。さらにイベント等の中止により、広報活動が難しくなっている。しかしながら、長年にわたり高齢者の生きがいづくりに貢献している。利用者の技を子供たちに伝えていく体験活動も実施されており、地域の中でも必要な活動の場となっている。現在の利用者の満足度の向上とともに、新たな利用者を増加させる取り組みに努められたい。		総合 評価 B
			平均 点 3.0

※4点満点

評価結果の割合



※端数処理のため、評価結果(A~D)の割合の合計が100%にならない場合があります。

項目別評価結果

